

私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

2014(26)年 週 報

2月9日
第2聖日
3338号

聖言

兄弟たち。私はあなたがたにお願いします。あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こすひとたちを警戒してください。彼らから遠ざかりなさい。

ローマ16:17

心の定理

三角形の定理の理屈はわからなくても、其れを利用して土地の測量、家の設計、その他事物の寸法の基本となっています。もし定理がまちがっていたら社会生活は大混乱になります。なぜなら土地の寸法が狂っていたら、家同士なら地境の争い、国同士なら領土の争い、不動産売買なら財産の争いになります。定理とは時代が変わり、国が変わり、人種が変わっても普遍、不変なものです。心の定理は神の言葉です。その理屈は神学者にまかせて、聖書の定理を活用することは時には損をするような時もあり、苦しい時もあります。しかし、最終的に人生をエンジョイできます。聖書に背いた人生は天に唾するごときものです。そこに潤いなく、喜びと、感謝なく天が銅に閉ざされた窮屈なものとなります。しかし、毎日のデポジションによる神との交わり、御言葉に全身全霊を従わせる生活は如何なる困難がこようと、たとえ死が襲ってきても、天の窓は開かれ、困難を克服できます。人生の失敗は宿命でありません。神の言葉を信じない。従わない。得手勝手に解釈すると言う傲慢の罪が原因です。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 神戸長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年二月二日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「聖なる口づけ」 大串昇兄召天三周年記念礼拝

「あなたがたは聖なる口づけをもって互いのあいさつをかわしなさい。キリストの教会はみな、あなたがたによろしくと言っています。」(ローマ一六ノ一六)

初代教会では同性同士が口づけをして挨拶も交わした。今も中東、欧米では行なわれている。相手の体に触れるという行為はみだりにできない。親しき者しかできない行為である。クリスチャンは縦の繋がりである神と親しい関係を築くとともに横の繋がりである信者同士が親しい関係を築かなければならない。神との親しい関係とは毎日のデボーション、礼拝、祈禱会の集会、祈り、御言葉の通読によって保たれ、信者同士の親しい関係神との親しい関係が保たれるとき、礼拝、祈禱会、各種集会、祈り、奉仕を通して築かれる。パウロはまだ行つたことのない、自分が建てあげたことのないローマの教会に対しても深い思いを持っていた。私たちも信者同士の交わり、特に霊的な交わりを密にするとともに、他の教会の信者、世界の信者のために祈りのたびに思い起こさなければならぬ。大串昇兄は大学受験のため滞在していた名古屋で毛利先生が牧されている教会で救われた。晩年は郷里の福知山に帰られ、月に一回は三時間以上もかかって神戸の教会に出席され、先代の牧師夫人紺本妙子先生のために特殊のベッドを開発されたり、海水を健康のために利用できないかを研究された。癌を発症され、三年前の今日六〇歳で召された。遺言により自宅を教会にささげられました。しかし、教会役員会で管理困難との意見があり、福知山の教会に任せるようになりました。

二〇一四年二月五日午前一〇時 祈禱会 山本牧師

「悩める者の叫び」(哀歌三ノ一〜二)

「私は主の激しい怒りのむちを受けて悩みに会った者。」

(哀歌三ノ一)

三章は哀歌の中心、他の章は二二節だが六六節と三倍と長い。それは三章だけ

がヘブル語のアルファベットが三節つつ使われているからである。なぜそうしたかという御言葉をおさみやすいようにするためである。作者は一人称でエルサレムの荒廃をなげいている。この原因は国民が真の神を捨てて偶像崇拜のためである。預言者は国民の罪を自分の罪として歎いている。これは主イエス様のお姿を表わしている。

宣教⑧

第三課 歴史の主人公になられた神

—世界宣教の歴史—

三、四、三 非暴力主義の宣教師たち

逆説的にも、当時の十字軍遠征を主張最初の人物は敬虔で献身的な当時の偉大な霊的指導者だった修道士クレルヴォーのベルナルドウスだった。一方でアッシジのフランチェスコやライムンドウス・ルイスといった修道士たちは非暴力的な生き方と教育を通してイスラム宣教に献身した優れた宣教師だった。

三、四、四 後手に回ったモンゴル宣教

一二七一年、モンゴル帝国のフビライ(一二一五〜一二九四)は教皇に対しモンゴル人にキリスト教を教える一〇〇人の教師を送るよう要請した。しかし、霊的に福音を伝えるよりも軍事的な自己防衛に関心があったヨーロッパの教皇たちは、一二九四年によく宣教師ヨハンを現在の北京に派遣してモンゴル人に洗礼を授けたが、モンゴル帝国の滅亡よりカトリック教会の共同体も崩壊した。

(ワイ・ミッシェンより)

第十四回癒し五〇日連続祈禱

一月六日(日)〜二月二六日(日)

午後一時〜午後 時半

祈りの後、楽しいティーで休憩

場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)